



【刊夕】日十月九

### 藥劑師論が通るか

#### 醫師の主張が勝るか

#### 愈々猛烈なる太刀打ち

本縣藥劑師會に於て殊に明的の結束を以て近く主務省  
樂派に多年熱叫されてゐたに提出される等て右は醫藥  
營業分業案は去る帝國議會當業よりも一般醫藥者に  
に於て遂に其の請願を採擇  
されたので聽て或はこの法  
令發布を見せぬかと  
縣醫師會 において  
療家の利益論に對して本紙  
も急遽此の反對運動に起ち  
過般來縣民數萬の調印を蒐  
集中であつたが愈々其の陳  
情書を藥劑會に同じく全國  
に於て遂に其の請願を採擇  
されたので聽て或はこの法  
令發布を見せぬかと

### 政友候補漸く決る

#### けふ豫選會で新人三氏を推薦

石城政友會の縣議候補  
選會は十日午後一時半より  
平町聚樂館に開催、出席者  
八百餘名、木村會長の挨拶  
の後各町村より二名づつ、  
平及内郷は四名の詮衡委  
員を擧げて一先づ休憩し二  
時半再開し委員側より  
井上茂作、田子健吉、赤  
坂一  
の三氏を推薦萬場異議なく  
之を承認し同四時散會

### 自轉車を拾ふ

（植で良犬の所有を疑つてある  
田通信）錦村大字大倉農田が来る十五日午前八時から  
小町地方は近來飼犬の流行  
三縣同好主催  
畜犬品評會

### 軍艦便乗記

#### 上梓さる

#### 木曾乗組 員へ贈呈

同町七丁目にて本縣及び  
茨城、栃木三縣下の同好者  
による第二回關東北谷犬品  
評會を開催すると  
許すを贈呈すると

### 兩組合反目して

#### 植田の藝妓争議

#### 三業何れも休業状態に

（植田通信）植田町みどり方では更に十日間の箱止め  
地蔵藝妓が去月初の抱主分を以て料理屋側に陳謝  
及藝妓屋組合に反旗を翻したが應せざるに對し  
反對藝妓として開業した事は今後絶対に組合藝妓を  
は當時問題となり同町料理  
屋  
組合で は同月九日  
勝代をお歴敷へ絶対に人の玉代支拂を延期した上  
のこと、客の連送も断る一切箱止めすることとなつた  
この二項を定め調印を取つたので翌日同町では藝妓屋  
た所の程勝代が舊主であつた料理屋、待合の全部が休業  
るみどりへ向かひ客の連送状態にあり斯くては町の發  
展だことを組合員が知り藝妓を阻害するも甚しいと聞  
け屋にして亦料理屋組合 部長、坂本消防  
部計なるみどり懲戒の  
幹部會 を開き組合  
幹事の要職を退かしたためが原因なく示威運動に腐心し  
其紛争を知つた藝妓屋組合である有様であると

### 四倉商市況

#### 白蘭糖一五四貫、最高

四倉商市場に於ける昨九日  
の取引左の如し  
白蘭糖一五四貫、最高  
三圓四十三錢、最低二圓  
八十八錢、買割三圓十九  
錢

### 竹槍で突き殺さる

#### 一名は瀕死の重傷

#### 昨夜渡邊村の傷害沙汰

石城郡渡邊村鈴木平次（三）被をなすと共に死體は解剖  
泉村大字泉吉田新三（二）の兩に附す等である  
名は九日午後九時ごろ渡邊  
村松小屋不動尊祭典で盆踊  
りの歸途途細のことから植  
田町添野の松田松治（三）同  
高木正明（二）假名  
外三名 と喧嘩を始  
め鈴木は竹槍を以て下腹部  
を吉田は鋭利な短刀様のも  
ので右耳上を突き刺され何  
れも瀕死の重傷を負へ一時  
の現場に於て鈴木は今  
十日午前九時ごろ遂に死亡  
した騒ぎに植田署では直に  
犯人を逮捕取調へ中尙ほ  
平檢事 局から市川  
警察署と共に書記二名を隨  
伴し、今日午前四時四十分  
半發列車で現場に急行し臨  
名濱町宇橋本小野徳次郎方  
り親の物は子の物と云ふ見  
ない即ち施業案によつて出  
來た森林は毎年の伐採區域  
を嚴格に守り過伐の爲めに  
林相を破るが如きことあれ  
ば再び之れを回復する事が  
如何なる影響を及ぼすもの  
であるかを觀すれば當に木  
材新築を産出することに  
つて利益なばかりでなく水  
源を涵養し洪水を豫防する  
の一端は疑いもなく説いたので

### 町村自治

#### 森林經營

町村基本財産たる森林が  
から年々略ぼ同一であり且  
つ人爲によつて容易に増減  
し難いものであらねばなら  
ない即ち施業案によつて出  
來た森林は毎年の伐採區域  
を嚴格に守り過伐の爲めに  
林相を破るが如きことあれ  
ば再び之れを回復する事が  
如何なる影響を及ぼすもの  
であるかを觀すれば當に木  
材新築を産出することに  
つて利益なばかりでなく水  
源を涵養し洪水を豫防する  
の一端は疑いもなく説いたので

### 水路に轉落

#### 千代ちゃん溺死

好間村大字川中子宇中島一  
〇農大谷喜重姪千代子（三）  
が鈴木は竹槍を以て下腹部  
を吉田は鋭利な短刀様のも  
ので右耳上を突き刺され何  
れも瀕死の重傷を負へ一時  
の現場に於て鈴木は今  
十日午前九時ごろ遂に死亡  
した騒ぎに植田署では直に  
犯人を逮捕取調へ中尙ほ  
平檢事 局から市川  
警察署と共に書記二名を隨  
伴し、今日午前四時四十分  
半發列車で現場に急行し臨  
名濱町宇橋本小野徳次郎方  
り親の物は子の物と云ふ見  
ない即ち施業案によつて出  
來た森林は毎年の伐採區域  
を嚴格に守り過伐の爲めに  
林相を破るが如きことあれ  
ば再び之れを回復する事が  
如何なる影響を及ぼすもの  
であるかを觀すれば當に木  
材新築を産出することに  
つて利益なばかりでなく水  
源を涵養し洪水を豫防する  
の一端は疑いもなく説いたので

### 社告

#### 植田支局設置

右本日より通信及び販賣  
に従事致させます、よつ  
て本日から同方面の讀者  
に對する郵送紙を廢し同  
支局から配達いたすこと  
になりました、お含みを  
願ひます  
昭和六年九月八日  
新しい新聞社

### 佐藤庄太郎氏

#### 後援會總會

佐藤庄太郎後援會總會は十  
日午前十時から半町有聲座  
に開催されたが同志三百名  
出席、田子會長の開辭に次  
いで佐藤氏の挨拶の後、馬  
目雄次郎氏を座長に推薦議  
事に入り同日十二時開會し一  
同午後一時より聚樂館に開  
かれた政友會の豫選會に  
臨んだ

### 醫藥分業せば ごうなる (一)

福島縣師會

第五十九議會に於て醫藥分業案が採擇になりました。従つて或は法令となつて現はれるかも知れませんが、現に醫藥分業とはごんなものか茲に批判する必要がある。醫藥分業となれば醫師は病人を診察するばかりで藥は藥劑師より貰ふ事になるのです。

現今の法令でも病人の希望により處方箋を取り藥は藥劑師より貰ふことは自由でありますから任意制度になつて居りますが故に法令に依る醫藥分業となれば醫師は藥を出す事が出来ぬ事となります故に醫藥分業論は單に醫師と藥劑師との争ひばかりでなく國民の保障並に經濟的利益に關する重大なる問題であります。

よく藥劑師側では醫師には藥學的智識が缺けてゐると云つて居りますが其れは甚だしい不合理な論で全然誤つて居る素人考へに過ぎないのであります。藥物の人類に與へられる目的は之れによつて病を療するにあるのであります故に藥物に就て最も主要なる智識は藥物の人體に及ぼす理化學的生理的、病理的、性能作用を明らかにするにあるのでありますから藥物中の智識を抜き去つたら餘は無價値なものになります。

貴府品良の賣中採客街  
山澤荷入物秋初  
有服吳関伊

平町  
院醫沼藤  
番七〇五話電

お醬油は ヤマフル  
醬油 味噌  
たひら 正宗  
鯉節 食料品  
鹽屋  
山崎合名會社  
電話 本島部一〇番  
本店部二七番

開業院  
福島縣平町大町(新川端)  
醫學博士 難波睦  
電話五〇二番

染がら毛赤  
八雲  
黒髪之美!  
平發賣所  
五丁目 山野邊藥局

健康長壽の源泉  
朝日養素  
二木、友澤醫學博士の實驗推獎  
脚氣、腎臟病、胃腸病、病後の衰弱、産前産後、乳なき小兒、運動の過不足、妊婦等に最も大なる効果があります。◇百開一見に如かず一ヶ月飲んで見て下さい(一合代價六錢)  
▲月定一合代價五錢  
講崎商店朝日養素部  
毎日午前午後平町新川町二六  
後二回配達 平出張所

更に大々改造  
食堂の新装美  
全部ソファアに改めました  
サービス百パーセント  
お御意のままに  
ゆつくりと御利用下さい  
御調理は總てお美味しくお安く  
平町 電話六二〇番  
カフエータバヒラ

生地に染色に色彩に  
31年秋の最新流行  
の折帽子を五種の  
ベストブライズ提供  
供致します  
鳥打帽子  
三五、ヨリ  
ベール  
二五、ヨリ  
秋の中折帽子特賣  
58 60 80 90 130  
モリタヤ洋品店  
平町丁目電三五三

内科、小兒科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科  
平町、電話五二三番  
高久病院  
院長醫學士高久忠

平町  
電話三五二  
サロン  
いづれ生ビールがおいしい  
キリン座席で氣さす  
フラスコ料理の献立

平町南町  
大森醫院  
内科  
小兒科  
醫學士 大森 勇  
電話二五八番

平町南町  
大森醫院  
電話二五八番